

創立100周年 飛躍年にしよう!

● 創造の原点

木村 光佑 (高7期)

住高時代に、私の人生は決まった。美術部に入部した。題材を選び、キャンバスを彩る。なかなか思うようには描けない。絵筆を手にしたく格闘>だ。それでも、自分自身の手で、自由に表現ができる喜びを感じた。作り上げていく時間がいとおしかった。大学入試を前に、美術部での活動を終えた18歳の夏。絵筆を持つことはなくなっていた。心にぽっかり、穴が開いた気がした。何を学びたいのか、何をやりたいのか。定まらないまま、創造の世界に飛び込んでみようと心を決めた。京都の美術大学に入学した。日本画を学び、繰り返し塗り重ねた下地の存在があるからこそ、描いた対象の実在感が表せると知った。対象の奥、向こう側には、豊かな礎がある。自らに、そう言い聞かせて、彫刻や版画といった表現にも挑むようになった。苦しみながらも、新たなものを生み出すことを続けてきたのは、無我夢中で<格闘>した住高時代の原点があるからだと今、実感している。

きむら こうすけ：京都工芸総合大学 名誉教授(元 学長)。

京都市立美術大学(現 京都市立芸術大学) 日本画科 卒。

日本をはじめアメリカ・イギリス・スロベニア(旧ユーゴスラビア)・ポーランド・ノルウェー・韓国などの国際美術展で国際大賞・名譽賞を受賞。大阪市・京都府・京都市の文化功労賞など受賞。

紫綬褒章・瑞宝中授章受章。芸術と科学等異分野との融合を提唱している。



● 住高卒業が今でも自慢です

アン ミカ (高42期)

現在の私を構成している要素に、住高は外せません。自由な校風で、自主・自律がモットーだったからこそ、とても濃厚だった高校生活。早朝からの新聞配達のバイト。中学から続けていた陸上部の活動。高1から本格的なモデル活動を始めたことで、オーディションを受け続け、夢だったモデルの仕事をする日々。制服がなく私服だったことで、いかにお金をかけず、おしゃれを楽しむか…服を作り、コーディネイトする楽しさ。そして、人との関わり・つながりの大切さ・温かさ。

モデルの活動で学校を早退・遅刻・欠席することが多く、遅れた授業は友人たちがノートを貸してくれ、教えてくれました。先生もそんな私の夢に「責任を持て!」「諦めるな!」と。みんながモデルの活動を応援してくれました。父との約束で、中間・期末テストを一度も休まずに受けたことは、友人たちの支えがあったからこそ。何事も一杯やる!これを実践できたこと、やらせていただいたことに感謝です。お世話になった先生方、クラスメイト、陸上部の友人、“ヘタレーズ”を組んだメンバーたち…。今でも仲良くおつき合いできていることにも感謝。パリコレに臆さず挑戦できたのも、国際結婚できたのも、英語に強かった住高のおかげ。本当に感謝です。

あん みか：モデル・タレント／韓国出身 大阪育ち。1993年パリコレ初参加後、モデル・タレント、テレビ・ラジオ・ドラマ・CM出演など、幅広く活躍。「漢方養生指導士」「化粧品検定1級」「ジュエリーコーディネーター」など多数の資格を活かし、化粧品、洋服、ジュエリー等をプロデュース。韓国観光名譽広報大使、初代大阪観光大使も務める。3月に「ポジティブ日めくりカレンダー毎日アンミカ」(講談社)を上梓。



母校の創立100周年を来年の秋に控え
各界でご活躍の卒業生に学生時代の思い出などを綴っていただき
創立100周年の機運を高めていきたいと思います
往時を懐かしく思い出し、またこれからのお住まいの飛躍に思いを馳せ
創立100周年を迎えましょう!

● 早起きとブラックホール

郷田 直輝 (高31期)

高1の2学期から家の都合で生駒から通学していました。超満員の近鉄電車を避けるため、かなり朝早く出かけていたので、住高には大抵一番のりだったと思います。朝に校長の坂上彦四郎先生とお会いした際は「早いですね」と驚かれていました。英語の宮本一夫先生は、まだ誰もいない教室の机の位置を整えておられることが多く、お手伝いをさせてもらいました。今までの中で一番早起きしていた時期だと思います。その反動で今は、勤務先まで徒歩で5分もかかるところに住んでいます。さて、毎朝、授業開始まで時間があるので、本等を読んでいました。当時、AINシュタイン誕生日100周年が近いこともあり、相対性理論やブラックホール、宇宙論が世間でブームになり、講談社のブルーバックスの宇宙関係の本をクラスの科学好きな友達と回し読みをしていました。小さい時から天文学は好きでしたが、この時期にさらに関心をもつたことがその後の私の進路を決めたと言えます。今は、天の川の中心に潜む超巨大ブラックホールの起源や天の川銀河の歴史等の解明を目指して、人工衛星での天文観測計画を進めています。

ごうだ なおてる：国立天文台JASMINEプロジェクトプロジェクト長・教授、総合研究大学院大学物理科学研究科天文科学専攻・教授／京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。京都大学理学部助手、大阪大学理学部助教授を経て、現職。専門は、宇宙論、銀河の形成・力学構造、位置天文学。赤外線位置天文観測衛星(JASMINE)計画を推進中。主に首都圏の住高同窓生有志200名程度(現時点では12期から67期)が登録されている、親睦を目的とした「惑星会」の幹事。



● ゼロからイチを作る事を教えてくれた場所

門松 良祐 (高52期)

自由な校風に惹かれ、「絶対この学校に行きたい!」と胸を張ませて入学した住吉高校。実際入学した時の最初の印象は、「思っていた以上に自由、こんなに自由でほんまにええの? 最高やんっ!」でした。でも、すぐに気付きます、本当の「自由」の厳しさ、難しさを。めちゃくちゃ頭を使って、一つ一つの行動を常に自分で考え、仲間と考え、「自主自律」の精神を3年間で自然と取り込む事が出来ました。

現在、私は「ミュージシャン」、「タレント」として活動させていただいている。こんな時代になる前は、全国各地で年間200本ほどライブ活動をさせてもらっていました! 「どうやったらお客様に喜んでいただけるか」を常に考え、時には予定した演奏曲を変更したり、目の前のモノに全力を注ぐ。そんなライブを心掛けているのは、住高での3年間が毎日ライブのようだったからかもしれません。

来年100周年を迎える我が母校。150周年、200周年と、これからも永く続いている。そのため自分に何ができるかを考え、先輩や後輩の皆さんと共に歩いていきたいです。



かどまつ りょうすけ：シンガーソングライター、タレント／国際教養科卒業。大阪教育大学在学中にアコースティックデュオ「ひまり」を結成。2007年にavexからメジャーデビュー。4枚目のシングルはオリコン16位を記録。2016年にデュオを解散し、翌年avexからソロでメジャー再デビュー。全国各地でライブを行い、タレント、MCなどマルチに活動中。